

2011年6月

高純度アルミナ製造設備の増強について

住友化学は、発光ダイオード(LED)に用いられるサファイア基板の原料などになる高純度アルミナ製造設備の生産能力を、現在の1,600トン/年から、3,200トン/年に倍増することを決定いたしました。

住友化学の高純度アルミナは純度99.99%以上のアルミナです。これまで30年にわたり、磁気メディア用フィルターや樹脂組成物の熱伝導性を高めるためのフィルター、電子部品・半導体製造装置用のセラミック部品・基板などに広く用いられてきました。特に近年は、パソコン・液晶テレビのバックライトや照明分野でのLEDの普及に伴い、LED用サファイア基板向け単結晶の原料としての需要が急増しています。

住友化学は、各種のサファイア単結晶製法に適し、生産性・加工性の良い高純度アルミナを愛媛工場(愛媛県新居浜市)で製造し、世界の主要な供給メーカーの一社として事業を展開しています。近年の需要の増加に対応するため、一旦は生産能力を1,600トン/年から2,000トン/年へ増強するべく、昨年設備の部分増強に着手しました。しかし、予想を上回る需要の拡大が見込まれることから、この度その計画を見直し、1系列を新たに追加することにより3,200トン/年の体制を構築することを決定したものです。新設備は2012年第2四半期の完成を予定しています。

高純度アルミナは、サファイア単結晶に加え、リチウムイオン二次電池の安全性をより高めるためのセパレーターや極板のコート材としても採用が進んでおりますが、ハイブリッド車や電気自動車の市場拡大に伴い、これらの用途の需要も大きな拡大が見込まれております。そのため、2013年度中にさらに1系列の設備増強を行うことを、今後検討してまいります。

住友化学は、生産体制だけでなく、各種用途に最適な特性を有した新規グレードの開発や、さらなる品質向上のための研究開発も強化し、顧客のさまざまなニーズに迅速に対応していくことで、高純度アルミナ事業の一層の強化を推進し、中期経営計画(2010～2012年度)における重点テーマであるICT関連事業の積極的な拡大を図ってまいります。